

1) ヌマガヤの株数確認と、生育地の保全

ヌマガヤ イネ科 千葉県レッドリスト 重要保護生物 (B)

- ・ 明るい貧栄養性湿地に生育
- ・ 本州中部の山地帯、冷温帯ではふつうにみられるが、千葉県（暖温帯）に生育していることが珍しい。

① ヌマガヤの株数確認

ヌマガヤが生育する湿地環境には、似たような背丈のカサスゲ（カヤツリグサ科）も生育しており、葉が茂る季節は見分けが困難です。


	ヌマガヤ	カサスゲ
生え方	叢生型 (根元から、多くの茎が出る)	横に伸びる地下茎から葉が出る
花期～果期	8～10月頃	4月～5月

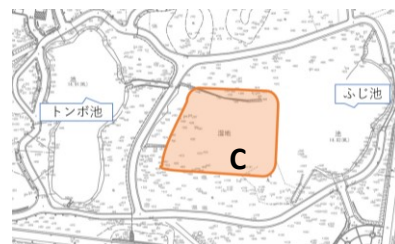


秋が株数確認の好機！

上の表のように、ヌマガヤはカサスゲよりも花期が遅く、枯れ始めるのも遅いので、先にカサスゲが枯れ始める秋が、ヌマガヤの株数確認の好機です！今年度は、株数確認の時期を逸しましたが、秋の終わりから目印を少しずつ立てておいた株数を確認しました。

- ヌマガヤの株数 A **こんぶくろ池周辺：25株** (昨年度29株)
B **弁天水路脇：9株** (昨年度6株)
C **ふじ池周辺：50株以上** (株数の確認の時期を逸した 昨年度150株以上)

右図中、の部分にヌマガヤが生育しています
A こんぶくろ池周辺
B 弁天水路脇
C ふじ池周辺



A



B



C

② ヌマガヤ生育地の保全

今年になってからの降水量が少なく、こんぶくろ池の水域が狭くなっており、いつもなら渡れない島の部分で、幼木の抜き取りができました。



シラカシ幼木の抜き取り



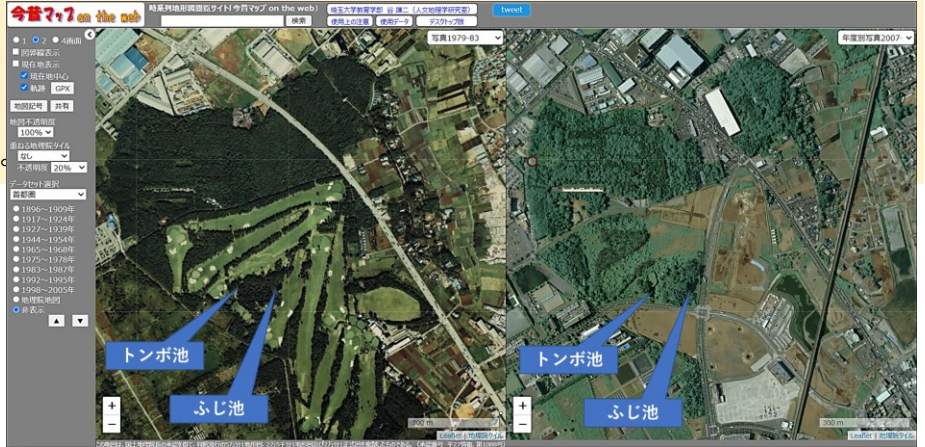
ヌマガヤ生育地に置かれた伐採木の枝を移動

まだ残っています！
移動が必要です。

1号近隣公園 ふじ池周辺の湿性環境

ふじ池周辺には、複数のズミとヌマガヤが自生。ズミもヌマガヤも、冷温帯に生育し暖温帯である柏市に自生することが珍しい植物。

湿地環境を好むハンノキも多数生育しており、複数のアカマツや、中間温帯林（冷温帯と暖温帯の間）の構成種イヌシデの大木も



今昔マップ（埼玉大学） 左：1979～83年 右：2007年
左の写真で、ゴルフ場（柏ゴルフ倶楽部1961～2001年）があった頃も、ふじ池周辺にはグリーンが設置されていないことが確認できます。



手前中央：イヌシデ
奥：ハンノキの群落

2 ズミ苗の植栽 ズミの個体数減少を食い止めるための保全活動。一号近隣公園のふじ池周辺に、ズミ苗※7株を植栽。

ズミ苗※：2018年に園内で採取した種子から育った個体。



3 植生調査



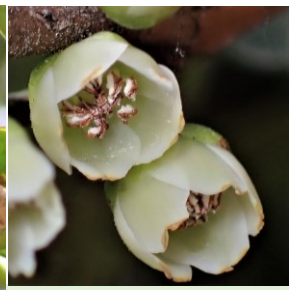
アマナ ユリ科

2月に草刈りを行った場所で葉が展開開始！開花は例年3月中。

ワタラセツリフネソウのエリアでは昨年より南に、一号近隣公園のアマナエリアでは斜面の上に葉の展開エリアが移動。花は、日が当たると開き、日がかけると閉じます。



左：雌花
めしべは1個で下が丸い

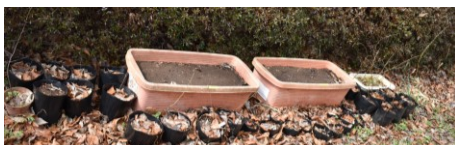


右：雄花
おしべは10～15個

ヒサカキ モッコク科 雌雄異株

神事に用いるサカキは茨城県、石川県以西に分布。ヒサカキは、関東以北でサカキの代用として用いられてきたそうです。

4 落葉広葉樹の育成 ポット苗や種子への水やり



コナラ ブナ科 上、左とも
先ず根を伸ばして吸水。
これから葉を展開するところ。

参加人数

5名